

日本は今、岐路に立たされていると言われています。長引くデフレによる景気低迷、震災の復旧・復興、エネルギー戦略の確立、教育のあり方、安全保障・社会保障、少子・高齢化など様々な問題を抱えています。

このような混沌とした社会の中で生き残っている企業には、どのような戦略・戦術があるのでしょうか。

刺繍レースの製造・販売をしているN社は最新鋭の機器と独自の技術で斬新なデザインの刺繍製品を作り出している企業です。織物業を営む創業者が刺繍レース機と出会い、「世界初のレースの着物を作りたい」という夢を、信頼する当時二十二歳の社員であるA氏に託し、レース部門を立ち上げました。

レース事業を立ち上げた当初は、繊維産業の構造不況などに直面していた厳しい時代であり、製造技術やノウハウなどまったくない状態でのスタートでした。尊敬・信頼していた創業者の夢を何とかして叶えたいと試行錯誤を繰り返して、また刺繍技術の高いスイスに単身で乗り込み、時には社員を送り込んで、最先端の技術習得に励みました。

同時に、独自の経営革新計画に沿って、市場のニーズを先取りして設備投資をタイムリーに行ない、当時、国内の同業他社に先駆けて、五億円を投資して最新鋭のレース機を六台購入し、新しい事業展開を始めました。

しかし、どんなに設備投資をして高品質の商品を製造しても、取引先に恵まれないならば意味がありません。氏は大手メーカーや問屋に認められるだけの技術力の向上に努めつ

創業の理念に立ち 夢への道を切り拓く



絵・今谷 鉄柱

つ、血眼になって飛び込みの営業活動を続けた結果、女性用インナーウェアの国内トップメーカーとの取引が成立したのです。

設備投資の五億円は五年で返済することができ、現在では斬新な発想を持って、希少価値のある新しい商品開発に努めています。

同社が強く生き残ってきた要因は、「時代のニーズや変化に即応して設備投資をした」「技術力の向上に努めた」「大手メーカーとの取引に恵まれた」など多々ありますが、最大の要因は創業者より氏が「創業者の夢を実現したい」という強い信念を持ち続け原点を見失わなかったことと、社是として掲げている「誠心誠意、正直正路」を一貫して守り続けてきたからにほかなりません。

現在、県の倫理法人会のリーダーとして活躍する氏は、倫理法人会で得た学びの成果を次のように語っています。

「当たり前のことを当たり前やる。基本的な所作が身につけていなければ、パフォーマンスな仕事はできません。糸クズ一本が気にならない人は、きめ細かなレース商品は扱えません。微細なゴミでもゴミとして気になる感覚は、日々欠かさずに行なう清掃や活力朝礼を通して身につくのです。これからも世界トップの刺繍レースメーカーを目指し、時代の変化に即応した経営革新を図りながら輝き続ける企業でありたいと考えています」

成功者とは「成功するまで諦めない人」です。氏の生き方に学び、創業の理念・原点からブレない強い信念と、当たり前のことを当たり前前に実行する力を養いたいものです。